

北海道における令和3年産 雑豆の生産状況について

(公財)日本豆類協会

北海道庁では、営農指導を的確に行うため、5月15日から10月15日までの間、毎月2回、農作物の生育状況を調査した結果を公表しています。

以下に、各時点において公表された①気象概況、②小豆と菜豆（金時）の生育状況等について紹介します。

1 気象概況

1) 5月

5月の気象について、気温は、中旬は平年より高く、月平均気温は平年並みだった。降水量は、上旬は平年より少なく、中旬と下旬は平年より多く、月降水量は多かった。日照時間は、中旬は平年より多く、下旬はかなり少なく、月間日照時間は少なかった。

2) 6月

6月後半の気象について、19日から20日にかけて気圧の谷の通過や上空の寒気の流入により、気温が低下し、雨の降ったところもあったが、高気圧に覆われ晴れた日が多くなった。気温は平年よりかなり高く、日照時間は平年よりかなり多かった。降水量については、地域によってばらつきがあり、平年より多い又はかなり少ないところがあった。

3) 7月

7月の気象については、気圧の張り出しの中で晴れた日が多く、気温は平年よりかなり高く、日照時間も平年よりかなり多かった。降水量については、全道的に平年よりかなり少なかった。

2 小豆と菜豆（金時）の生育状況等

1) 6月1日現在

小豆については、断続的な降雨の影響により、は種作業はやや遅れている。菜豆（金時）については、は種作業は平年並みに進んでいる。

2) 6月15日現在

小豆の草丈は平年と比較して「長い」、葉数は「平年並み」となっており、5月下旬の断続的な降雨の影響により、は種作業はやや遅れたが、生育は平年並みに進んでいる。

菜豆（金時）の草丈は平年と比較して「長い」、葉数は「平年並み」となっている。生育は平年並みに進んでいる。

3) 7月1日現在

小豆の草丈は平年と比較して「長い」、葉数は「多い」となっており、6月の好天により生育が進み、生育は平年並みとなっている。

菜豆（金時）の草丈は「平年並み」、葉数は平年と比較して「多い」となっており、6月の好天により生育が進み、生育は平年並みとなっている。

4) 7月15日現在

小豆の草丈は平年と比較して「やや長い」、葉数は「多い」となっており、生育は平年並みに進んでいる。

菜豆（金時）の草丈は平年と比較して「長い」、葉数は「平年並み」となっており、生育は平年並みに進んでいる。

5) 8月1日現在

小豆の草丈と葉数は「平年並み」となっており、生育も平年並みに進んでいる。開花も平年並みであるが、一部地域においては、高温・少雨の影響により、開花の遅れや落花が見られる。

菜豆（金時）の草丈は平年と比較して「やや長い」、葉数は「平年並み」となっており、生育は平年並みに進んでいる。開花も平年並みである。

小豆(芽室 7月26日撮影)



金時(更別 7月28日撮影)

